

実際のコミュニティ・スクールは？

本市では令和2年度からモデル校として

- 生目中学校
- 広瀬北小学校
- 清武中学校区（清武小、大久保小、清武中）
- 大宮中学校区（大宮小、池内小、大宮中）

がコミュニティ・スクールを導入しています。



学習を
支援する

広瀬北小学校



地域づくり協議会の皆さんが、家庭科の授業でミシンの使い方や縫い方を指導している様子。丁寧に教えてもらうことができるので、子どもたちも先生も大変喜んでいます。他にも冷や汁作り体験などのお手伝いをしてもらっています。

地域を
守る

生目中学校



生目地区災害時救援ボランティアコーディネーターや防災士の方々から学んでいる様子。従来の防災訓練をするだけでなく、風水害時の避難所を開設する際にどのようなことについて考えなければならないかなど、生徒たちが地域の方と一緒に話し合っています。

地域を
知る

大宮中学校区



大宮中学校の1年生が総合的な学習の時間を活用して、「大宮の史跡探訪」をしたときの様子。大宮地域まちづくり推進委員会の方々から大宮地区の歴史について説明していただき、自分の住む地域の魅力を学んでいます。

学校に
ついて語る

清武中学校区



学校の課題解決や特色ある学校づくりに向けて、学校運営協議会で話し合っている様子。地域と学校が取り組める内容について、熟議（熟慮と活発な議論）を通して、それぞれの役割に応じた解決策や連携・協働できることについてアイデアが出されました。

特集1

コミュニティ・スクールって何？

「地域とともにある学校づくり」が始まっています

コミュニティ・スクールという言葉を知っていますか？簡単に言えば、学校と地域住民などが力を合わせて学校運営に取り組む仕組みです。「学校運営協議会」という組織を設置し、より良い学校づくりを目指します。具体的にどんなものなのか、まずは図を見ていきましょう！

コミュニティ・スクールの仕組み



POINT 1 仕組み



学校運営協議会は、保護者や地域の方が「こんな子どもを育てたい」や「こんな学校にしていきたい」という目標を学校と共有し、当事者意識をもって学校運営に参画します。

POINT 2 機能

本市では、「宮崎市ならではの」コミュニティ・スクールとして、「学校運営への参画」「学校支援の一層の充実」に加え、「学校と地域の双方向による地域貢献の環境づくり」と「地域まちづくり推進委員会などの地域の組織との連携」も推進していきます。



POINT 3 コミュニティ・スクールの必要性



宮崎市教育委員会
鬼束優一さん

子どもたちや学校の抱える課題は複雑化・多様化しており、学校だけの解決は困難になっています。また、地域においても自治会加入率の減少、活動を担う人の高齢化や後継者の育成などが課題となっており、コミュニティ・スクールを通して、地域と学校が協力し合いながら、未来の宮崎市を担う子どもたちを育てていくことが大切です。

- ～法律に基づく学校運営協議会の役割～
- 1 学校運営の基本方針を承認すること。
 - 2 学校運営について教育委員会や校長に意見を述べること。
 - 3 教職員の任用について教育委員会に意見を述べること。

図を見ると、たくさんの矢印が出ているのがわかります。今までは学校運営の基本方針は学校だけで決めていました。しかし、コミュニティ・スクールの必要があり、学校が学校運営協議会の承認を受ける必要があります。地域と学校が目標を共有し、「One（一緒に）やっていきましょう！」の関係で学校運営を行うことを目的としています。本市では、令和5年度までにすべての小中学校にコミュニティ・スクールを導入する予定です。

※今回ご紹介した活動は、令和元年度から令和2年度に実施された活動です。